

CONTENTS

| | | | |
|----------------------|---|--------------------------|----|
| 悩んだときの図書館…………… | 1 | 資料紹介 | |
| 『学生時代にキャリア力を身につけよう』 | | 外国語読本コーナー・外国語読本電子ブック… | 8 |
| 社会人としての人間力を考える！…………… | 2 | 春の企画展報告「ようこそ南山大学図書館へ」… | 10 |
| 図書館員のつばやき…………… | 3 | MyLibraryで返却期限日の確認ができます… | 12 |
| 南山大学の司書課程…………… | 4 | 南山大学図書館 秋の企画展のお知らせ | |
| 図書館研修を体験して…………… | 6 | 編集後記 | |

悩んだときの図書館

社会倫理研究所第一種研究所員

法学部法律学科准教授 森山 花鈴

みなさんは、「図書館」をどのような場所として捉えているでしょうか。

考えてみれば、私の人生の中での図書館は、何よりも「落ち着く場所」だったように思います。私は、昔から「本」が大好きで、いろいろな場所の図書館によく通っていました。たとえば、小学生の頃は学校の図書室の本では飽き足らず、自転車で町の図書館に行っては入り浸り、中学生になると、わりと大きい図書室を持つ学校だったので、年間100冊を読むことを目標にして日々学校の図書室に通っていました。高校生になると、新しい本に触れられるのが楽しくて、放課後に学校の図書室に通っては司書の先生のお手伝いをして過ごしていました。大学生の頃には、朝、本館よりもほんの少しだけ早く開いている学部の図書館に行って勉強し、大学院生になってからは、図書館に研究個室があったので、そちらにこもりつつ、時折気分転換に様々なフロアの本棚の本を眺めていました。こうやって書くと、どれだけ勉強が好きだったのかと勘違いされそうですが、私は勉強というよりも、いろんな人の考え方を知ったり、何かを新しく知ったりすることが楽しくて仕方なかったのかもしれない。

今だから告白できますが、私は元々、「学校」という空間そのものはあまり好きではありませんでした。同じ学校の中にあっても「教室」とはちょっと違う、「図書館」という空間が大好きだったのです。そして、本を読んでいる間だけは自分はまた違う世

界にいられるような気がして、その本を読む時間自体が好きでした。

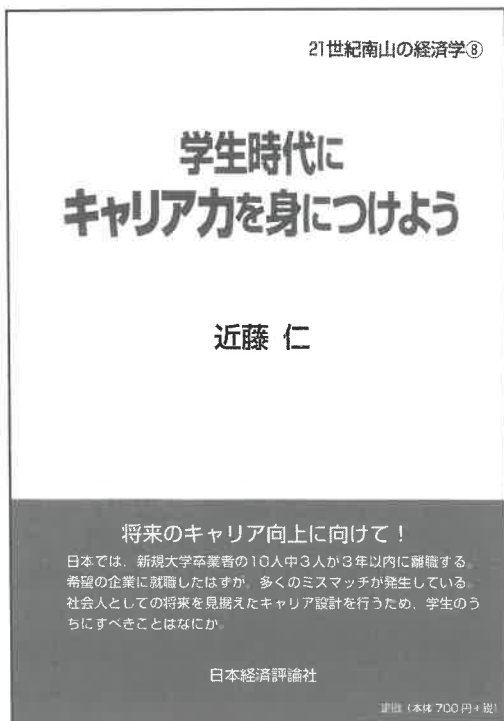
数年前、鎌倉市図書館が、「学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいっちゃい」と呼びかけたツイートが話題になったことがあります。学校を休むことを奨励しているのではないかと一部で賛否両論が起きてしまったツイートではありますが、私は、この鎌倉市図書館のように、図書館だからこそ、そんな時の誰かの居場所になれる時があるのではないかとと思っています。

何かに悩んだときには、図書館の本の背表紙を眺めて歩くだけでも、図書館の椅子に腰かけて、パラパラと本をめくってみるだけでもいい。もしかしたら、その時間やその本に、何かのヒントが隠されているかもしれません。私がそうであったように、「本」の中だけでなく、もしかしたら「図書館」そのものが、誰かにとっての居場所になることがあるのかもしれない。

悩んだときには、図書館へ——。南山大学の図書館には、資料もたくさんそろっており、学生の皆さんにとっては、普段はレポートや卒業論文の資料を探し出すための場所としてとても活用できる場所だと思います。でも、それに加えて、ほんのちょっとした時間に、「本を探す」ことだけではなく、たまにはその空間を楽しみつつ、ゆっくりと過ごしてみながら、いろいろな使い方をしてもらえればと思っています。

『学生時代にキャリア力を身につけよう』 社会人としての人間力を考える！

南山大学名誉教授 近藤 仁



近藤 仁著

『学生時代にキャリア力を身につけよう』

日本経済評論社、2018年刊

請求記号：377.9/412

選挙権年齢の18歳への引き下げに続いて、今回の民法改正によって2022年から成人年齢が18歳となる。この改正で、18歳になると、親の同意なくローンの締結などが可能となり、いわゆる「大人」とみなされる。このように、大学生はすでに成人であり社会人であることから、自分の将来について責任を持たなければならない。

また、「大卒新規就職者の、3人に1人が3年以内に離職する」と就職のミスマッチが懸念され、特に、1年目の離職率が高いことが問題となっている。離職する人々は、就職するにあたって将来のビジョンを持っていたのだろうか。自己実現という点からの具体的な目標を持っていたのだろうか。

このような現実を背景に、社会人基礎力を身につけると共に、自分の将来の生活設計、つまり生涯にわたる生き方「キャリア」を意識し、いますべきことを考えてみよう。

キャリア形成のためには、まず自分を知ること、すなわち自分の考え方の特性、強みや弱み、長所や短所を意識しておく必要がある。そのために、自分の行動特性を見つめてみよう。何かが起こったとき、どのように考え、どのような行動をとってきたか、その結果はどうであったか、他の行動の選択肢はなかったかなどについて、具体的に書き出してみると、自分の行動特性が見え、自分の強みがわかってくる。さらに、行動に向けての視野を広げるために、「マインドマップ」などの方法を利用して、さまざまな見方があることを知ろう。

次には、コミュニケーション力である。コミュニケーション力が弱いという話を聞くが、その原因は、自分自身や自分の意見に対する不安からの保身である。コミュニケーションで大切なことは、自分を信頼してもらうことであり、自分を理解してもらうことである。そのためには、相手のことを知ろうとするのではなく、自分から話すことが必要であり、まずプレゼンテーション力を身につけよう。会話は、キャッチボールであり、正解はないので、殻を捨てて、積極的に話してみよう。

将来の生活設計には、必ず目的や目標が必要である。最終到達点としての目的に対して、目標は目的までの道のりの各段階において設定される「標」である。具体的な目標と、達成に向けた具体的な計画を策定することで、実行しやすくなり、その達成についての問題点をチェックし、改善策を考えることが可能になる。これが「PDCA サイクル」であり、多くの企業においてもこのシステムは採用されている。

最後に、社会人としての常識である「ホウ（報告）・レン（連絡）・ソウ（相談）」を正確に理解し、タイミングを逸さないように実践できることが求められる。また、社会では、1人で仕事をするのではなく、グループや組織での協働である。アイデアや意見を出し、改善策を見つけるために役立つ「SWOT 分析」や「ブレインストーミング」などのグループワーク手法を身につけておこう。

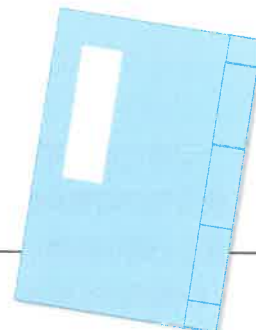
このような観点から、本著が、将来に向けての人間力を高め、キャリア形成のための一助となることを期待している。

図書館員のつぶやき

～本は読むもの、愛でるもの～

図書館の中を歩いているとき、書棚に並んでいる本を見ているとつい思ってしまいます。
「丸背」「角背」「丸背」「無線綴じ」「丸背」 … 「あ、和綴じ」 …

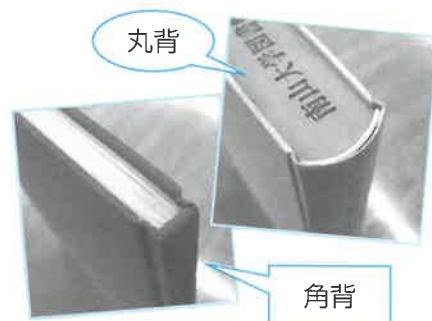
何の話かといえば、本の綴じや製本のことです。
それぞれ個性的で、どの本も見ているだけで心が躍ります。
綴じ方の主な種類は次のようなものがあります。



| | |
|------|---|
| 和綴じ | <p>テレビや博物館の展示などで見たことがあるかもしれません。 古風で素敵な綴じです。 まっすぐに重ねて置いた紙に穴を開け、そこに糸を順番に通して綴じていきます。 糸の通し方によって、四つ目綴じや亀甲綴じなどの種類があります。 立てて保管することには不向きなので、図書館に並んでいるときには、秩（ちつ）というカバーに収められているものもあります。</p> |
| 中綴じ | <p>見開きページを開いた状態で、真ん中をとめます。 外国語読本コーナーにある薄い本にはこの綴じ方をされているものがありますよ。</p> |
| 糸綴じ | <p>その名のとおり、糸を使って綴じられています。丈夫です。 開きやすく、扱いやすいのが特徴です。 何枚か重ねた紙をまとめて折り、それをいくつも作って糸でまとめます。 * 重ねた紙をまとめて折ったものを折丁といいます。</p> |
| 無線綴じ | <p>接着剤でとめてあります。 文庫本などはこの綴じ方をされているものが多いですよ。 メモパッドのようなつくりになっているので、ページが取れやすいのが難点です。</p> |

製本は大きく分けて上製本（ハードカバー）と並製本（ソフトカバー）の2つに分けられ、背が丸いのが「丸背」、四角いのが「角背」と呼ばれています。「丸背」はカジュアルな雰囲気、「角背」はフォーマルな雰囲気を醸しだしていますね。また、上製本は背にできる隙間にゆとりを感じられる、優雅で上品な本であると見るたびに思います。一方で並製本は背にゆとりはありませんが表紙がやわらかいため持ちやすく、手になじむので親しみを感じられます。

本はその内容を読み、理解を深めたり見識を広げたりするものではありますが、本そのものについても目を向けてみると、書棚を見ることが楽しくなるかもしれません。目的の本を見つけるまでの間、個性あふれる図書館の本たちの姿を楽しんでみてください。



参考資料

『図書の修理とらの巻』 書物の歴史と保存修復に関する研究会編、澁標, 2017 (請求記号:014K/619)
『いちばんわかる手製本レッスン：手で作る本と基本技法』
スタジオタッククリエイティブ, 2012 (請求記号:022K/311)

(広報委員 関本 みわこ)

南山大学の司書課程

人文学部人類文化学科准教授 浅石 卓真

司書とは図書館法第4条に規定されている「図書館に置かれる専門的職員」であり、「図書館の専門的事務に従事する」とされている。図書館法は公共図書館を念頭においた法律であるが、一般に司書という場合には他の館種（大学図書館、学校図書館、国立図書館、専門図書館）の図書館員の総称としても用いられる。日本で司書資格を得るにはいくつかの方法があるが、最も一般的なのは大学で図書館に関する科目（13科目24単位、以下では司書課程とする）を履修することである。

南山大学の司書課程は、基本的に全ての学部の学生に開放されており、2017年度は50名の学生が所定の単位を修得した。学部別の内訳をみると人文学部が最も多いが、修了者は全ての学部になわっている。現在は図書館情報学を専門とする専任教員1名（人文学部）と、アーカイブズ学を専門とする専任教員1名（国際教養学部）のほか、他大学からお招きした非常勤講師が司書課程の科目を担当している。

非常勤講師としては、図書館情報学を専門とする研究者以外にも、様々なバックグラウンドを持つ方々をお招きしている。例えば、必修科目の「児童サービス論」では、四日市市にある子どもの本専門店「メリーゴーランド」の店主をお招きしている。また選択科目の「情報・メディア史」では、長く国立近代美術館に主任研究官として務められた方をお招きしている。これら多彩な講師陣は本学の司書課程の大きな特徴である。

次に、私が担当している司書課程の科目をいくつか紹介したい。「図書館情報学概論」は、図書館業務を支える学問領域である図書館情報学の基礎知識を教授する科目である。このような性格から、この科目は司書課程の他の多くの科目の前提科目（ある科目を受講する前に単位を修得しておく必要のある科目）に指定している。前提科目としては他に「情報サービス論」（「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」の前提科目）と「情報組織化論」（「情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱ」の前提科目）がある。

南山大学の司書課程では、以前からコンピュータの活用に力を入れている。例えば第3・4Qの「情報サービス演習Ⅱ」では、主に検索エンジンやデータベースを活用して図書館利用



者の様々な情報要求に対応するスキルを養うことを目指している。また、第3Qの「情報資源組織演習Ⅰ」では「Excel」「Access」「R」という3つのソフトウェアにより文献を組織化・検索する方法を修得する。このうちExcelではデータベース機能とマクロ機能を用いて簡単な図書検索システムを、Accessでは図書館の貸出管理システムを作成する。

さらに、私が今後力を入れようと考えているのは、図書館イベントの企画能力の育成である。現在の図書館は（公共図書館に限らず）本を借りたり勉強したりする空間としてだけでなく、コミュニティの課題解決をしたり家族や友人で楽しめる場所を提供するといった「場所としての図書館」の機能が求められている。そのため「情報サービス演習Ⅰ」では図書館イベントや読書イベントを調査した上で、実際にビブリオバトルなどいくつかのイベントを体験する機会を設定している。

なお文部科学省令上の「図書館に関する科目」には「図書館実習」という選択科目があるが、本学では開講していない。ただし、南山大学図書館と連携して「図書館研修生」という試みを2002年から実施している。これは、司書課程・学校図書館司書教諭課程の受講生を対象として、図書館業務を体験してもらうものである。2018年度の前期には2名の応募があり、図書の発注・受入・整理業務や広報活動を担当している。司書課程の受講生には今後も積極的な参加を期待したい。

授業以外では年に数回、司書課程の主催で講演会を実施している。通常の講義では各地域の図書館事情までフォローすることは難しいため、2018年度は「世界の図書館」をテーマとして、各地域の図書館に詳しい研究者をお招きして講演会を実施することとした。具体的には北米と東南アジアの図書館事情に詳しい専門家をお招きして、それぞれの図書館の様子を伝えてもらうことで、司書課程の講義内容の理解を深めると共に、当該地域へ留学予定の学生に各地の概要を知ってもらう機会としたい。この他、司書課程の講義の中でも適宜、ゲスト講師をお迎えしている。

最後に、学校図書館司書教諭課程についても触れておきたい。司書教諭は学校図書館の専門的職務に従事する教諭であり、日本では学校図書館法により12学級以上の学校には必ず置かなければならないと定められている。本学では司書課程と比べて、学校図書館司書教諭課程の履修者数は少なく、2017年度に所定の単位（5科目10単位）を修得したのは7名であった。しかし、現在の学校教育では情報活用能力や言語力の育成が重視されており、学校図書館の重要性も再び認識され始めている。教職課程を履修している学生は、司書教諭課程の履修も考えてみてはいかがだろうか。





図書館研修を体験して

人文学部 日本文化学科 皿澤 佳苗

今回の図書館研修を終えて、私が最も感じたのは自分がやりたいことをやれることのうれしさでした。また、結果を得たときの達成感や喜びもとても大きなものだということも、感じることができました。

私は、絵本が好きです。絵本に描いてある絵には作者の気持ちが、文章には伝えたいことが表現されていますが、伝えたいことを直接訴えかけていない絵本もあります。そのような絵本は、一番伝えたいことは婉曲的に表現し、読む人や読み手の読むときの気持ちによって、様々なことを読み取ることができます。絵の細かいところや、登場人物・動物の豊かな表情には、いつも夢中になります。また、絵本は読んだ後にどこか心が温かくなるような気持ちになります。最近は絵本を読む子どもが減ってきていると感じます。携帯電話が広く普及し、小説もネットで読むことができる時代は、心に孤独感を覚えてしまうことも少なくありません。私はこの研修で、幼い頃母に読んでもらった絵本を掲示板で紹介し、掲示板を見た人たちに「懐かしいな」と思ってもらえるといいと思いました。掲示板が完成し、実際に掲示した後、掲示板に載っている絵本はどこにあるのかという問い合わせがあったと聞いたときは、とてもうれしかったです。

掲示板では紹介できなかった私の好きな絵本は、「どんなにきみがすきだかあててごらん」（作：サム・マクブラットニィ、訳：小川仁央）と、「からすのパンやさん」（作：加古里子）です。「どんなにきみがすきだかあててごらん」は、デカウサギとチビウサギがお互いのことをどれだけ好きなのかを、いろいろなものに例えて言い合う絵本です。私はあなたが思っているよりも、あなたのことが好きなんだよ、というデカウサギとチビウサギの気持ちに、私はとても感動し、優しい気持ちになりました。小さい頃に母が読んでくれて、それからはずっと私のお気に入りの絵本です。ページをめくるたびに、次はどんな言い方で大好きって言うのだろう？と想像しながら読むことがとても楽しかったことを覚えています。この絵本は、他にも「はるのおはなし」「なつのおはなし」「あきのおはなし」「ふゆのおはなし」の4冊がシリーズで出版されています。それぞれ異なった題について、デカウサギとチビウサギが言い合うお話ですが、絵本の色合いがそれぞれの季節で違って、何回読んでも楽しい絵本です。

「からすのパンやさん」はとても有名なので、読んだことがある方も多いと思います。私が一番好きなページは、やはりいろいろな種類のパンがページ一面を飾っているページです。「からすのパンやさん」も、シリーズで他に出版されています。少し昔の懐かしい絵本は、大きくなってから読み返してみると新しい発見があることも多々あります。今回の研修で、懐かしい絵本を何冊も読み返しました。すると、小さい頃よくわか

らなかったストーリーを改めて理解できたり、絵をじっくり見て感動したりできました。絵本は、心を豊かにすることのできる大切なものだと思います。絵本の魅力が、掲示板を通して伝わったらいいなと思いました。

私が図書館研修を受けようと思ったきっかけは、図書館内に張ってあるポスターでした。司書といっても様々な種類の仕事内容があることがわかりました。自分の好きな本の魅力を伝えられるような活動してみたいと考え、広報活動の研修を選びました。実際に研修を行ってみて、広報活動は考える力がとても必要なことがわかりました。やりたいことをどのように実現させるか。どうしたら人の目を惹きやすくなるのか。規模はどれくらいかなど、考えることがたくさんありました。その中で、本の魅力を最大限にアピールすることの難しさも体験することができました。また、著作権の問題が予想以上に関係していることも学びました。広報活動には、本の表紙の写真や、本に登場するキャラクターの絵を用いると、人の目を惹きつけやすくなります。しかし、著作権が関係してくるので、どういう活動は著作権の侵害にあたるのか、も考える必要があります。このことを、自分の近くにある問題として、考えることができたことはとても良かったと思います。

今回の研修で考えたことを、自分の生活や将来の仕事の中で活かしていきたいです。そして、研修の中で身につけた本の紹介方法を使って、さらに多くの人に絵本や小説の魅力を伝えていけるようになりたいです。多くの経験をさせていただき、ありがとうございました。

図書館前の掲示板で
図書館に所蔵されている
絵本を紹介しました。



おすすめの絵本の小冊子を
作成し、配布しました。

(図書館研修生 皿澤 佳苗)

資料紹介

外国語読本コーナー・外国語読本電子ブック

I. 外国語読本コーナー

みなさんは、図書館1階の外国語読本コーナーの資料を利用したことがありますか？

共通教育科目の外国語科目（英語・初習外国語）の履修にあたって、外国語読本コーナーの資料を使うという方もたくさんいらっしゃるでしょう。よく言われるように、外国語の学習には「聞く・話す・読む・書く」の4技能について、総合的に力をつけていくことが必要です。外国語読本コーナーの資料は、このうち、「聞く・読む」力のレベルアップに役立てることができます。例えば、アクション、ロマンス、ミステリー、スリラー、ネイチャー、サイエンスなど、親しみやすい様々な分野がレベル別に網羅されていることから、簡単な読み物として数多く読み進めるうちに、知っている語彙や文法、表現が増え、読解力やリスニング力を身につけられるという期待が持てます。ストーリーを通して、各レベルに合わせた語彙や文法がコントロールされている点が特徴です。興味のあるテーマで自分にあったレベルを選んで、楽しみながら力をつけていきましょう！

★外国語読本コーナーのシリーズ（英語と初習外国語）★

【英語】

初級から上級まで、たくさんのシリーズが展開されています。レベルごとに色分けをして、図書館の書架に並べられています。自分のレベルにあった本を選んでみましょう。

〈英語のレベル別色分け（ ）内は請求番号参考〉

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ・ Pink (英語 /1/**) : Beginner | ・ Orange (英語 /6/**) : Pre-Elementary |
| ・ Red (英語 /2/**) : Elementary | ・ Green (英語 /7/**) : Upper Elementary |
| ・ Blue (英語 /3/**) : Pre-Intermediate | ・ Black (英語 /8/**) : Intermediate |
| ・ Purple (英語 /4/**) : Upper Intermediate | ・ Grey/Silver (英語 /9/**) : Advanced |
| ・ Dark Blue (英語 /5/**) : Advanced | ・ Gold (英語 /10/**) : Advanced |

【初習外国語】

初習外国語に関しては、2018年6月現在、ドイツ語とフランス語の読本を揃えています。こちらは、英語に続き言語ごとに書架に並んでいます。

II. 外国語読本の電子ブック

「でも、忙しい大学生活の中で、なかなか図書館まで来て本を探すのが難しい」というみなさんには、電子ブックがおすすめ。図書館の Web ページからログインすれば、貸出手続きの長い列に並ぶ必要もなく、学外からでも外国語読本にアクセスすることができます。

★図書館 Web ページから電子ブックの外国語読本へアクセスしてみましょう★

南山大学 Web ページ → 図書館 → 電子リソースポータル → 外国語読本 (Graded Readers) から利用できます。

- 【英語】
- ・ Page Turners (Level 1-10)
 - ・ Macmillan Readers (Level 1-5)
 - ・ Cambridge Experience Readers (Starter, Level 1-6) など多数。

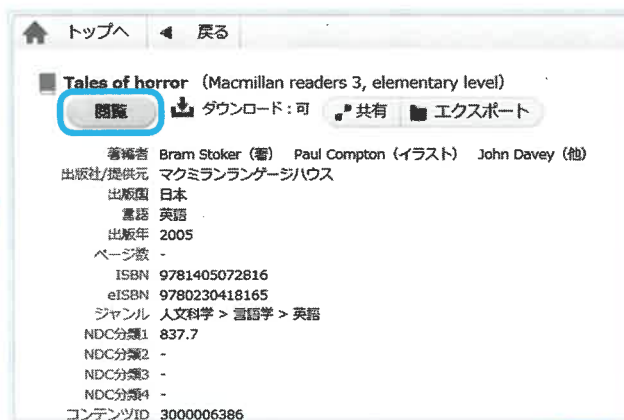
- 【初習外国語】
- ・ スペイン語外国語読本
 - ・ フランス語外国語読本
 - ・ ドイツ語外国語読本
 - ・ インドネシア語外国語読本

★使ってみよう！～『Macmillan Readers』★

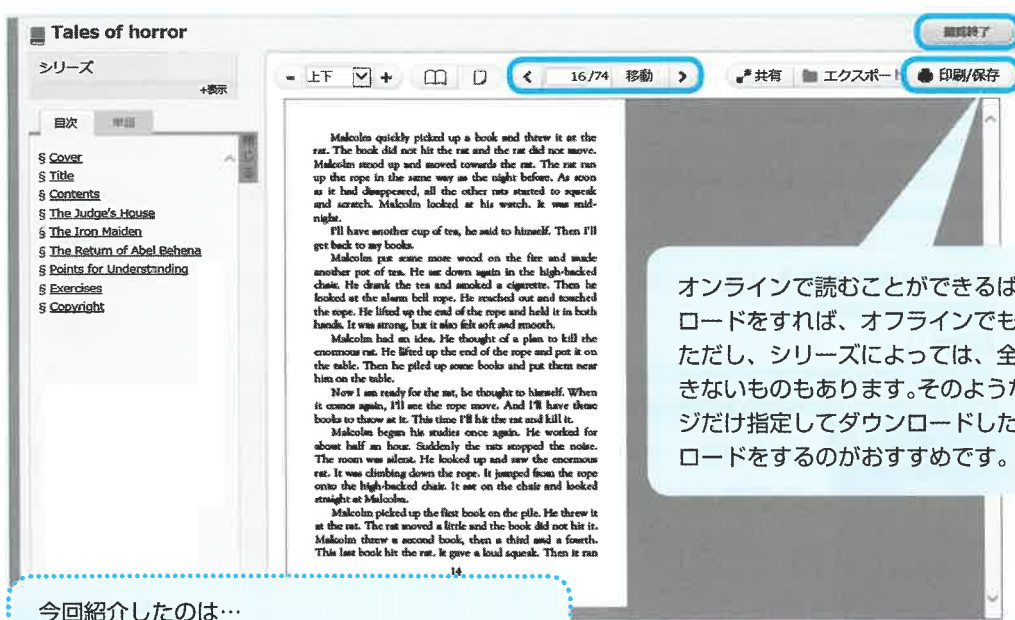
①シリーズ一覧のタイトルをクリック



②「閲覧」をクリック



③「ページ移動」や「印刷／保存」の操作も簡単です。読み終わったら「閲覧終了」をクリック！



オンラインで読むことができるばかりでなく、ダウンロードをすれば、オフラインでも閲覧が可能です。ただし、シリーズによっては、全文ダウンロードができないものもあります。そのような場合は、必要なページだけ指定してダウンロードしたり、章ごとにダウンロードをするのがおすすめです。

今回紹介したのは…
 タイトル：Tales of horror
 レベル：elementary level (Level 3)
 「ドラキュラ」の作者による3編の怪奇短編小説。
 予想外の結末をお楽しみに！

これからも、その他の言語や新シリーズの電子ブックを導入予定です。ぜひ活用してください。

(学術情報係)

春の企画展報告

ようこそ南山大学図書館へ ～新入生のための図書館案内～

2018年4月1日（日）から2018年4月15日（日）まで、春の企画展を開催しました。

南山大学図書館を初めて利用する新入生のみなさんにもわかりやすいよう写真をふんだんに使い、図書館の各コーナーをパネルで紹介。南山大学図書館に関する豆知識から、知って得する情報までわかる「図書館クイズ」のコーナーも好評でした。みなさんは何問解けましたか？



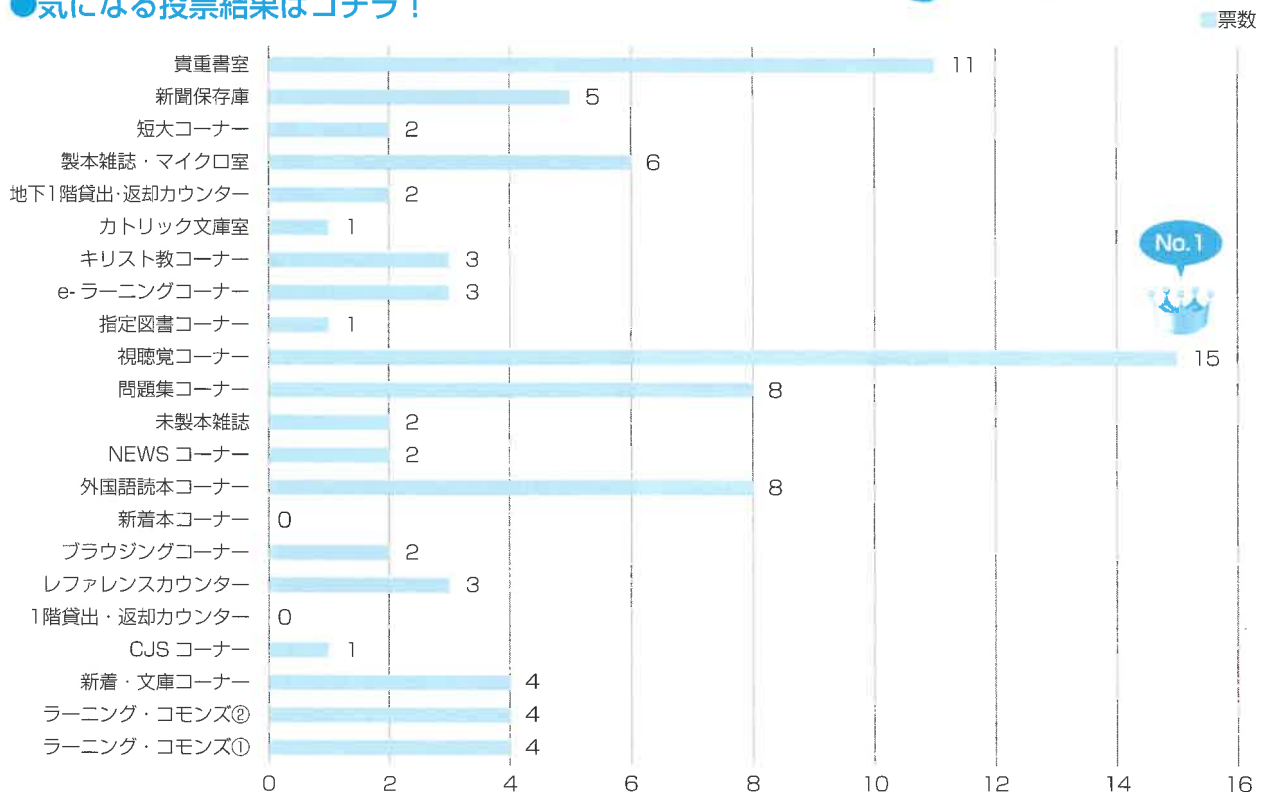
[各コーナー紹介]

[図書館クイズ]

また今回の企画展では、桜の花びら型の投票用紙を用意して、「興味をもったコーナー」の投票を実施しました。


みなさんの投票したコーナーはランクインしているでしょうか？！

●気になる投票結果はコチラ！



●人気コーナー BEST3

視聴覚コーナー



語学学習や海外の映画、ドラマなどの視聴覚資料が豊富にあり、自由に視聴できます。個人所有のDVD等の持ち込みはできませんのでご注意ください。視聴が終わった資料は棚に戻さず、返却台に置いてください。空いた時間で資料・映画鑑賞などをしてはいかがでしょうか。




視聴覚コーナー



見事1位に輝いたのは「視聴覚コーナー」。手続き不要でCDやDVDを利用できる人気のコーナーです。語学学習用CDのほか、海外の映画、ドラマなどのDVDも気軽に楽しめます。

貴重書室



本学では次の資料を貴重書として定義し、貴重書室に収納保管しています。

- ・和書は1868(慶応4)年以前に印刷または書写されたもの。
- ・漢籍(和刻本・翻刻本を含む)は1912年(中華民国建国)以前に印刷または書写されたもの。ただし、洋装本は含まない。
- ・洋書は1850年以前に印刷または書写されたもの。



貴重書室

続く2位には「貴重書室」が選ばれました。普段目にする事のない貴重な資料があると知り、みなさん気になったようです。紹介パネルでは貴重書になる本の定義なども紹介されていたので興味を持たれた方もいるのかもしれませんが。

問題集コーナー



▼問題集コーナーの隣にある英語読本コーナーは、各種問題集を揃える際の参考として利用される方が多く見られます。TOEIC、TOEFL、英検などの資格取得や検定、公務員試験対策などに役立つ資料が並ぶ「問題集コーナー」と、各種外国語の多読本がレベル別に並ぶ「外国語読本コーナー」に票が集まるあたり、南山生の「資格・試験」や、「外国語」に対する関心の高さがうかがえる結果となりました。

外国語読本コーナー





問題集コーナー 外国語読本コーナー

3位には「問題集コーナー」と「外国語読本コーナー」が同率ランクインしました。TOEIC、TOEFL、英検などの資格取得や検定、公務員試験対策などに役立つ資料が並ぶ「問題集コーナー」と、各種外国語の多読本がレベル別に並ぶ「外国語読本コーナー」に票が集まるあたり、南山生の「資格・試験」や、「外国語」に対する関心の高さがうかがえる結果となりました。

【番外編】ワースト1位「新着本コーナー」

残念ながら獲得票数0票となってしまった「新着図書コーナー」。図書館に新しく入ってきた本が最初に並ぶ棚で、読書好きのみなさんには見逃せないコーナーです。原則月曜日に入れ替わるのでチェックしてください！

新着本



「新着本」とは図書館に新たに所蔵された資料のことです。1階の「新着本コーナー」の棚と、地下1階の書庫出入口の「書庫新着本」のブックラックにあります。

- ・毎週月曜日に入れ替え。
- ・展示期間は1週間。
- ・貸出は可能。

どうぞご利用ください。



企画展でご紹介したのは、図書館の魅力のほんの一部です。みなさんも、たくさん図書館に来て、自分なりのお気に入りの場所を見つけてください。

(広報委員 富増 和可)

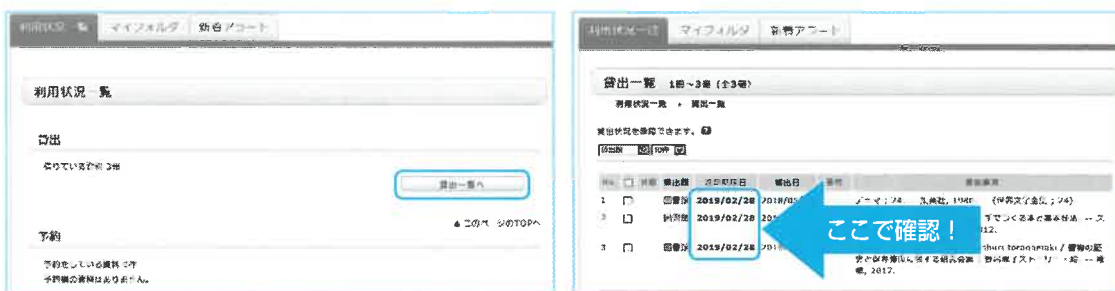
皆さんご存知ですか？ MyLibrary で返却期限日の確認ができます

図書館で何冊か本を借りているけど、それぞれ別々の日に借りてしまって返却期限日が分かりづらい…。

そんな時に便利なのが蔵書検索 OPAC の MyLibrary 機能です。これを使うと、現在貸出中の本とその返却期限日を一覧で見ることができます。

〈確認方法〉

OPAC 画面左側の「利用状況の確認」 → PORTA のログイン画面でログイン
「利用状況一覧」画面が表示されるので、一番上の「貸出一覧へ」をクリック



南山大学図書館 秋の企画展

図書館から冒険の旅へ ～物語を鮮やかにする世界遺産～

2018年10月15日(月)～10月28日(日)

図書館1F ブラウジングコーナー

文学や映画作品を通して、
世界遺産の様々な魅力を紹介します。



《編集後記》

あわただしい日々をお過ごしのみなさん、ぜひ図書館へおこしください。インターネットで得られる情報も手軽で便利ですが、ゆっくと本のページをめくるのもよいものですよ。(渡辺)

南山大学図書館報 デュナミス No.74

※図書館Webページでもご覧いただけます。

2018.10.1 発行

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：菅野、関本、渡辺

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Phone:052(832)3707 Fax:052(833)6986

http://office.nanzan-u.ac.jp/library/